

令和8年度第1回大仙市地域公共交通活性化再生協議会
運賃協議分科会

日 時 令和8年6月29日(月) 午後3時
場 所 大仙市役所大曲庁舎3階 大会議室

次 第(案)

1. 開会

2. 協議案件

- (1) 太田地域乗合タクシーの運賃について資料1
- (2) コミュニティバス長信田線「太田支所前」における運賃について
.....資料2

3. その他

4. 閉会

令和8年度第1回大仙市地域公共交通活性化再生協議会 運賃協議分科会委員名簿

○委員

規約（第3条）選任区分	所属	職名	氏名	備考
（1）大仙市長が指名する職員	大仙市	副市長	今野 功成	会長
（2）当該運賃等を定めようとする 一般乗合旅客自動車運送事業者	羽後交通株式会社	常務取締役	井上 俊二	
（2）当該運賃等を定めようとする 一般乗合旅客自動車運送事業者	合資会社大曲タクシー	代表社員	青山 忠雄	
（3）国土交通省東北運輸局秋田運 輸支局長が指名する職員	東北運輸局秋田運輸支局	首席運輸企画専門官	大淵 知子	
（4）利用者代表及び住民代表	太田地域協議会	副会長	小柳 悟	

○事務局

団体名	所属名	職名	氏名	備考
大仙市	企画部	部長	佐々木 英樹	
	太田支所市民サービス課	課長	高橋 正人	
	企画部地域活動応援課	課長	高橋 靖弘	
		副主幹	東海林 亜紀奈	
		主任	進藤 尚人	

太田地域乗合タクシーの運賃について

1. 太田地域乗合タクシー運行計画

(1) 運行の概要

太田地域乗合タクシー	
運行区域	太田地域全域
乗降場所	・自宅または自宅近くからの乗車 ・太田地域内の事前に設定した目的地や、利用者が任意に設定した目的地(太田地域内であれば自由乗降可)
運行日	月曜日～金曜日
運休日	土日・祝日、年末年始
運行時間帯	8:30～16:30 ※長信田線と接続する時間帯は、目安時刻運行とし、それ以外の時間帯については、オンデマンド運行とする
運行形態	一般乗合旅客自動車運送事業(区域運行)
運行事業者	大曲タクシー
車両	一般タクシー車両(需要に応じてミニバンタイプやジャンボタイプ(5人～9人程度乗車可能)の活用を検討)
運賃	■1乗車 ￥600 ■1日乗車券 ￥1,000 ■定額運賃(ひと月) ￥3,500
予約	電話受付またはアプリ予約 ※8:30便のみ、前日17:00までの予約締め切り
運行期間	令和8年10月1日～令和9年3月31日

運賃設定根拠

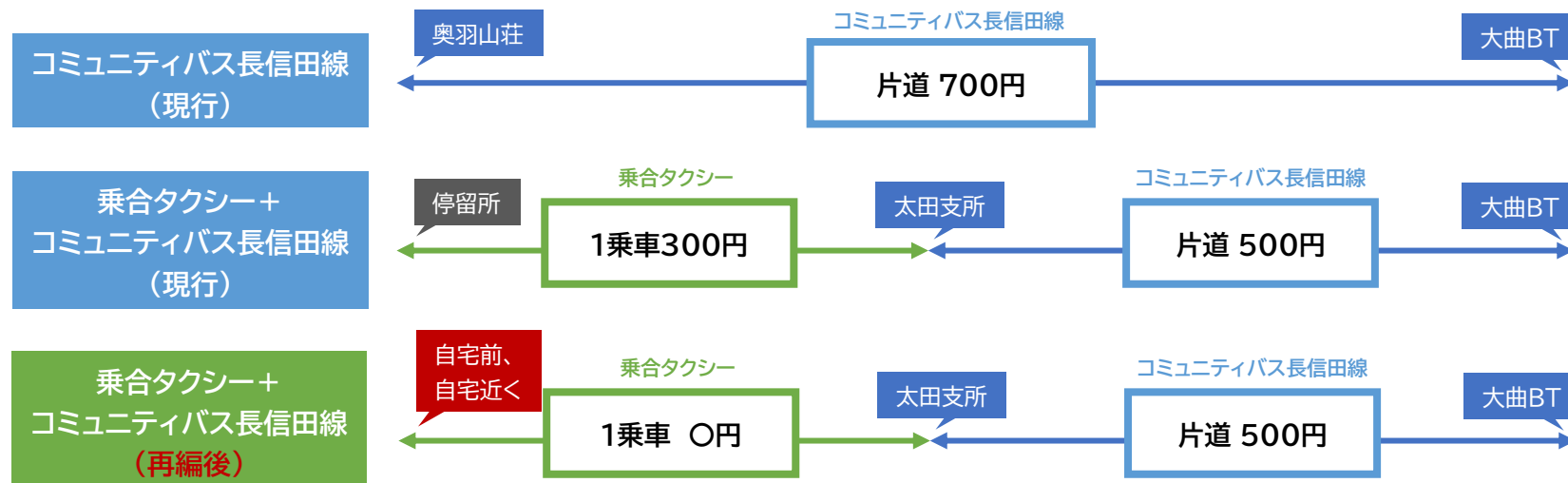
本資料では、太田地域における乗合タクシー再編に向け、現行の運賃・利用実態および交通事業者へのヒアリング結果をもとに、再編後の乗合タクシーに係る運賃設定の考え方を整理した。

<前提となる運賃・距離データ>

交通手段	運賃	備考
太田地域乗合タクシー	300円/1乗車	停留所型・固定便
長信田線	300円※1、500円※2、700円※3	※1 奥羽山荘～太田支所 1乗車運賃 ※2 太田支所～大曲BT 1乗車運賃 ※3 奥羽山荘～大曲BT 1乗車運賃
一般タクシー (乗合タクシー各区域中心地点～太田支所)	平均2,116円(平均距離3.8km)	現行乗合タクシーの8区域の中心地から太田支所までの平均運賃を採用

運賃設定根拠

<移動パターン>



- 長信田線は奥羽山荘～大曲BTで片道700円
- 乗合タクシーの再編後、長信田線の運行は太田支所～大曲BT(500円)となり、乗合タクシーとの乗り継ぎが前提の体系に移行する。
- 下限ライン:乗合タクシーの直接の競合は現行コミュニティバス長信田線の地域内区間(奥羽山荘～太田支所:300円)。再編後はその区間が廃止されるため、「乗合タクシーしか選択肢がない」状況となるが、住民の納得感を得るために現行300円からの値上げ幅を合理的に説明できる水準に設定する必要がある。

運賃設定根拠

① 1乗車運賃の試算

比較対象	運賃	乗合タクシーとの関係
一般タクシー(平均)	2,116円	上限(これより安くする)
長信田線・太田地域内(奥羽山荘 ～太田支所)	300円	下限ライン
現行乗合タクシー	300円	参考(停留所型・週3日)

付加価値(ドアツードアかつ、オンデマンド運行の時間帯を設ける、週5日運行)による上乗せの考え方

- 長信田線(停留所型・固定便)、現行乗合タクシーに対して「ドアツードア+オンデマンド+週5日」の付加価値 → 300円超が必要
- 一般タクシー(2,116円)の1/3水準(約700円)を目安に設定
- 利用者が「バスより高いが、それだけの価値がある」と納得できる水準

1乗車運賃:600円とする

- ※ 長信田線・同区間(300円)の2倍 = 「ドアツードア+オンデマンド+週5日」の付加価値として説明可能
- ※ 現行比+300円の値上げ幅は、大幅な利便性向上(ドアツードア・週5日・オンデマンド)の対価として住民に納得感を持たせやすい
- ※ 400円では持続可能な運賃水準として不十分、800円では心理的抵抗が大きくなる恐れがある

運賃設定根拠

② 1日乗り放題券の試算

考え方:1日に往復2回利用(通院の行き帰り等)が標準的な使い方となり、2回分より少し割安に設定することで購入インセンティブを持たせる。

案	1日乗り放題	都度×2回比	
低価格案	900円	1,200円比	▲300円(25%割引)
標準案	1,000円		▲200円(17%割引)
高価格案	1,100円		▲100円(8%割引)

1日乗り放題券:1,000円とする

- ※ 都度2回(1,200円)より200円安く、「往復使うなら1日券がお得」という明確な訴求が可能
- ※ 3回以上使う日(通院+買い物等)はさらにお得になり、外出促進効果が期待できる
- ※ 1,000円という切りのよい金額で利用者にわかりやすい

運賃設定根拠

③ 月定額運賃の試算

考え方:ドアツードア・週5日化により利用回数増加を期待し、月6回(往復3回)を基準に設定。

月利用回数	都度×n回	月定額運賃案	割引率	損益分岐
4回	2,400円	—	—	—
6回	3,600円	3,500円	3%割引	6回以上でお得
8回	4,800円		27%割引	
10回	6,000円		42%割引	

月定額運賃:3,500円とする

コミュニティバス長信田線「太田支所前」における運賃について

令和8年6月

1. 経緯

令和8年10月から、コミュニティバス長信田線の一部便について運行区間を「大曲バスターミナル～太田支所」に変更し、「太田支所～奥羽山荘」間については乗合タクシーが担う運行体系へ移行する予定である。

この運行区間の変更に伴い、新たな停留所となる「太田支所前」の運賃について協議するものである。

2. 内容

(1)対象停留所

太田支所前

(2)運賃の考え方

「太田支所前」は、令和8年10月から新たに運行する長信田線2(大曲バスターミナル～太田支所)の終点となる停留所である。

「太田支所前」停留所の運賃については、既存のコミュニティバス長信田線の運賃体系との整合性を図るため、各停留所までの距離等を踏まえ、既存の運賃区分に準じて設定する。

太田支所前から乗車した場合の運賃

降車停留所	運賃
横沢車庫前～南福島	200 円
横堀小学校前～上田茂木	300 円
下田茂木～保屋	400 円
丸子町～大曲バスターミナル	500 円

※「太田支所前」停留所の運賃は、既存の「太田支所入口」停留所に近接していることから、利用者の混乱を避けるため、「太田支所入口」停留所と同額の運賃を設定する。

3. 適用開始日

令和8年10月1日